

健康で豊かな生活への取り組み

お客様の健やかで豊かな生活を支援するため、サントリーグループではさまざまな商品・サービスを提供しています。

商品・サービスを通じた健康への貢献

健康に留意されるお客様のニーズ・嗜好に合った商品・サービスの提供を通じて、お客様の健康で豊かな生活に幅広く貢献する活動を展開しています。

特定保健用食品や健康食品の開発にあたっては、「安全性と有用性の科学的裏付けを持った、人々の健康に役立つ商品・サービス」という考えのもと、古くからの食経験に基づいた自然の力の有用性を最新の科学で検証し、確かな技術で明らかにしてきました。

自然と共生し、自然の力を活かしながら、人間が本来持っている「健康を保つ力」を引き出すことで、「健やかで、美しく、心豊かな毎日(ウェルネスライフ)」を応援するという考え方は、まさしくサントリーグループの企業理念「人と自然と響きあう」に基づいたものです。

● 研究に基づく特定保健用食品を発売

ウーロン茶特有の重合ポリフェノールに脂肪の吸収を抑える強い作用があることを発見し、この研究をもとに「黒烏龍茶 OTPP」を2006年に発売。また2007年には、ゴマから生まれた「ゴマペプチド」を含む、血圧が高めの方に適した「胡麻麦茶」も発売しています。



「黒烏龍茶 OTPP」と「胡麻麦茶」

● セサミンの機能解明から健康食品発売へ

健康に良いとされてきたゴマの機能を科学的に説明することに挑戦し、ゴマに含まれる微量成分のひとつ「セサミン」の機能解明に成功、1993年に健康食品の第1号として商品化しました。2003年にはビタミンEやトコトリエノールとの組み合わせによりパワーアップした「セサミンEプラス」を発売しています。



「セサミンEプラス」

新しい価値を創造する研究開発体制

特定保健用食品や健康食品における研究開発の核となるサントリー健康科学研究所は、健康に役立つ素材を探索し、その素材の魅力を科学的に解明しつつ、一人でも多くのお客様が明るく健康で心豊かな生活を送ることができるための安全・安心で優れた品質の商品をお届けするという役割を担っています。また、安全性科学センター、価値フロンティアセンター(微生物科学研究所、植物科学研究所、水科学研究所)など、それぞれの専門領域を持つ研究部門が、その特性や独自の技術を活かし、各事業会社の研究開発部門とともに、グループ横断で協働・連携しています。

● 研究の成果を発表

サントリーグループの研究開発部門では、国内外の大学や、外部研究機関との共同研究を行い、学会発表や学術論文などで、その成果を世の中に発信しています。

健康で快適な生活文化を提供—(株)ティップネス

(株)ティップネスでは、最新のトレーニングジムに加え、脂肪燃焼からコンディショニング、ダンスプログラムなどのスタジオコンテンツも充実させ、幅広い世代で高まる健康ニーズに応えています。また、こども向けスクールブランド「TIPNESS KIDS」や企業向け健康・運動支援サービス「ティップネス eメソッド」なども展開中です。



健康に貢献するプログラムを展開

安全・安心へのこだわり—サントリーウエルネス(株)

サントリーウエルネス(株)では、商品の原材料を世界中から集めています。そこで、どの原産地の材料を使い、どこの工場で、いつつくられたかがきちんと把握できる「トレーサビリティシステム」を整備。原料の調達、工場での生産、出荷、配送のすべてのプロセスで厳しく品質をチェック・管理しています。